

田無第三中学校の将来像・建替コンセプトの検討について

1. 将来像・建替コンセプトのイメージ

田無第三中学校の将来像・建替コンセプトについては、他校の建替えにおける検討結果と同様に、学校の将来像(テーマ)を中心に、複数の建替えコンセプト(学校づくりの考え方)で構成するものと想定します。

◆ひばりが丘中学校

子どもたちの学習・教育環境の向上を図り、地域コミュニティの醸成に寄与する学校、また快適な住環境・一体的な景観形成を推進するこれからのまちづくりに寄与する学校を目指す。

—テーマ—

緑豊かな快適な環境で、のびのびと学べる学校
地域のシンボルとして、より開かれた学校

—学校づくりの4つの柱—

●多様な学び・文化・スポーツの場となる学校づくり

- ・集中できる快適な学習環境とアクティブラーニング※1を促す柔軟な学習空間
- ・部活動利用を考慮した使いやすい校舎等及びグラウンド計画

●地域とのつながりを育み、共に学ぶ学校づくり

- ・地区施設との連携を考慮した学校活動の見える化
- ・ユニバーサルデザイン※2と適切な地域開放ができる管理区画

●環境を考慮した学校づくり

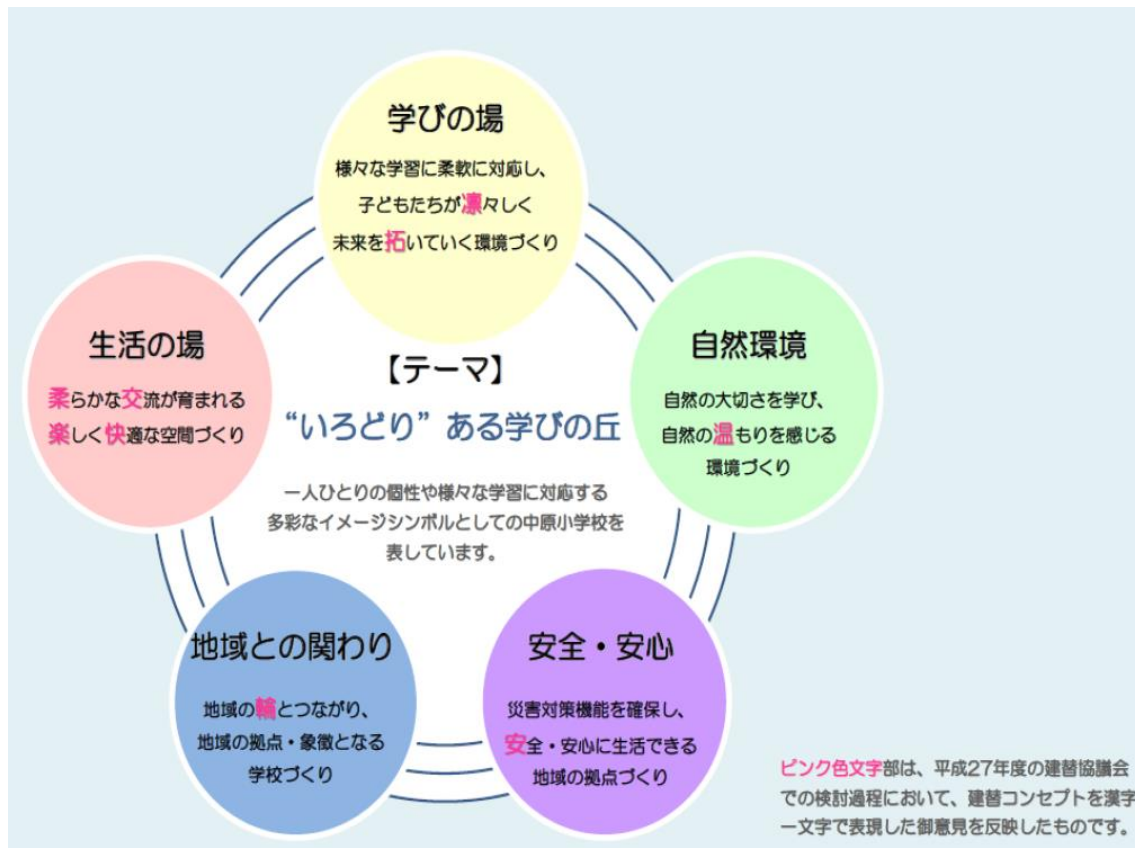
- ・生徒の生活環境としての快適性と地球環境を考慮した省エネのバランス
- ・学校全体を教材とする自然環境を生かした「見えるエコ施策」

●長く使える災害に強い学校づくり

- ・建物の長寿命化、メンテナンス性、生徒数の変化等に対応する柔軟性・更新性
- ・普段のエコを災害時に生かす、実効性のある災害対策機能の充実

◆中原小学校

変わりゆく時代の教育環境に柔軟に対応でき、地域に愛され、地域の核として機能する学校を目指す。



2. 学校の将来像の検討

田無第三中学校の将来像(テーマ)については、学校の現状を踏まえて将来に残していきたいことや改善していきたいことのほか、社会情勢の変化や学習指導の動向から考慮すべきことなどをディスカッションしながら、検討を進めていきます。

なお、検討にあたっては、学校が掲げている教育目標や目指す学校像・生徒像とともに、学校出前授業で聴取した生徒の意見を参考にしていきます。

〔第1回会議での意見〕

- ・ 人生の過ごし方に直結する重要な3年間
- ・ 部活動が盛り上がると学校全体が盛り上がる
- ・ 障害者なども様々な人が利用できる施設
- ・ 生徒はあいさつができる印象がある
- ・ 良い校風を残しながらの建替え
- ・ 実用性のある堅実的な建物

◆田無第三中学校の教育目標

国際化、情報化、科学技術の進展するなかにあって、平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神にみちた人間の育成をめざし、教育目標を定める。

- よく考え進んで実行する人間になろう
- 思いやりのある心豊かな人間になろう
- 丈夫な体をつくり心身ともに健康な人間になろう

[重点目標]

自治(自分で自分を治める・自分たちを自分たちで高める)

1. 考える 2. 思いやる 3. やりぬく

◆田無第三中学校の目指す学校像

「笑顔とまごころがあふれ、夢を育む学校」

1. 子どもにとって「安心して自らの能力を伸長できる学校」
2. 保護者や地域にとって「信頼でき、協力したくなる学校」
3. 教職員にとって「チームの力を生かして、主体的に課題解決できる学校」

◆田無第三中学校の目指す生徒像

「自治:社会自立に向けて、自ら高め合う生徒」

1. 考える生徒 2. 思いやる生徒 3. やりぬく生徒

「ま」本気で真面目に取り組む生徒

「ご」相手を思いやり「ごめんなさい」と言える生徒

「こ」困った時に助けを求める生徒

「ろ」ロマン「夢」に向かってへこたれない生徒

◆学校出前授業における生徒の意見

「公共施設を考えよう」～学校を核としたまちづくり～ を授業テーマとして、『学校を新しく建て替えるとしたらどんな学校がよいか。』を、学校教育、地域コミュニティ形成の面等から、田無第三中学校の生徒に考えてもらいました。(令和5年7月6日実施)

[生徒の意見]

- 地域の人たちが使える学校
- Sutairissy(Stylish)
- 未来の子どもたちへ
- 個性と自由ではみ出していく地域に優しい学校

- 生徒の主体性を伸ばす学校
- みんなで楽しく自由に快適に過ごせる学校
- 近代的かつバリアフリー
- できることの幅が広い学校！！
- 地域の人と交流できるような安全で便利な場所
- 外見だけでなく、生徒らの雰囲気もさらに良くなる学校
- 近代的な学校
- おしゃれで利用したい学校
- 地域との関わりが強く、生徒と先生の距離が近く、生徒全員が快適で楽しく過ごせる学校

生徒の意見から描いたデザイン画（制作・監修：武蔵野大学建築デザイン学科）



階が重なる立体街路のような建築となっており、街の中の学校をイメージしました。生徒の意見の中の「多層階（10階建）」、「活発に遊べる（外部空間）」や、様々な用途の提案をヒントにして描いています。

学校の建物は分棟構成になっており、渡り廊下で繋がれています。一方は教室棟、もう一方は地域棟で図書館やシアター等々の機能を開放し、まちとつながっていきます。

3. 建替コンセプトの検討

田無第三中学校の建替えコンセプト(学校づくりの考え方)については、「西東京市学校施設個別施設計画」で示す学校施設整備の基本的な方針などを踏まえ、主に6つの視点から整理を行い、最終的に4つ程度のコンセプトを示します。

- ①学習環境 ②生活環境 ③地域交流・まちづくり
④環境配慮 ⑤災害対策 ⑥防犯対策

4. 検討の流れ

田無第三中学校の将来像・建替コンセプトは下表のとおり検討していきます。

	第2回会議 10/17	第3回会議(視察) 11月上旬	第4回会議 11月下旬	第5回会議 12月下旬
学校の将来像	グループワーク	アンケート		決定
建替コンセプト			グループワーク	